

図書館所蔵資料データ等の公開一覧

情報源 タイプ	文書名	点数	備考
目録	1 赤星家文書	6 点	八代郡野津手永鏡町・赤星家に伝来した資料。近世末期から近代初頭にいたる鏡町関係の資料が収められている。
	2 荒木家文書	5 点	荒木精之氏旧蔵。荒木いおり氏寄贈
	3 有馬文書	1 点	有馬源内（白嶼）及び有馬源内に関する史料で、明治期のものが多い。
	4 宇土藩文書	1 点	
	5 宇野文庫	1 点	宇野廉太郎（1869-1690）郷土史家。近世～近代。
	6 江藤家文書	1 点	
	7 木下家文書	5 点	木下鞆村資料。江戸末の儒学者、時習館訓導。
	8 栗屋家文書	1 点	栗屋家は細川藩士。内容は栗屋家への宛行状が主。
	9 黒田文書	2 点	黒田家は山鹿郡中村手永椎持村（現・山鹿市鹿北町）の庄屋。藩通達の文書などが収められており、村支配の状況などを知ることができる貴重な資料。
	10 古城家文書	4 点	古城禎吉（漢学者）資料。狩野直喜、鳥居素川からの書簡。
	11 後藤家（医）文書	6 点	
	12 佐川家文書	1 点	宇土藩士篠原家の文書。資料は主に江戸時代の各種相伝・免許関係の資料。
	13 猿木家文書	1 点	小堀流踏水術の家。宗那（1849-1912）以前、幕末の小堀流図面。当時踏水術を知りえる貴重な資料。
	14 住谷家文書	1 点	住谷家は細川家臣。主に知行宛行状と所付目録。
	15 高田家文書	1 点	高田家は細川藩士。内容は知行関係が主。
	16 高橋家文書	1 点	高橋家文書は、明治から昭和初期にかけての熊本の財界人である高橋長秋（県近代文化功労者）が西南戦争に参加した際、戦地より良心にあてた書簡類。
	17 徳丸家資料	4 点	山鹿郡誌編纂のため徳丸秋因が調査した資料。明治初期の山鹿郡内の貴重な資料
	18 富永家文書	31 点	富永賢吾氏収集。武道関係
	19 永田家文書	1 点	鹿子木量平の筆写になる「覚」。
	20 羽田家文書	1 点	
	21 林田家文書	1 点	江戸時代刊行の木版本
	22 福島文書	36 点	福島太郎助（安政年間の惣庄屋）上益城郡沼山津手永資料
	23 藤岡文書	10 点	矢部・清和地方の文書
	24 洲上家文書	15 点	洲上家は、山鹿郡中村手永矢谷村の惣庄屋。帳簿類、西南戦争西郷軍の資料
	25 松浦家文書	1 点	松浦家は豊前以来の細川家臣。内容は知行宛行状が主
	26 松岡家文書	1 点	松岡家文書は、宇土郡郡浦村（現・宇城市三角町郡浦）の地主・松岡家に伝来した資料。内容は、江戸期に刊行された実録『太閤真蹟記』の書写をはじめ、明治以降の帳簿類、昭和期に松岡家に宛てられた書簡類が主。
	27 的場家文書	1 点	的場家は代々細川藩士。内容は宛行状が主。
	28 森（睦）家文書	1 点	森家は代々御所浦村の庄屋。文書は、百姓からの願書、村内のもめごとなどについての願書など。
	29 柳井文庫	1 点	柳井家収集文書や詩書。内容は江戸後期の熊本関係。
	30 米田家文書	1 点	資料は、幕末～明治頃の米田家の内輪の資料が主。
	31 渡辺家文書	1 点	文化10年頃渡邊寛太の誌した資料で、甲佐町や緑川の治水を知る好資料。
小計		144 点	

図書館所蔵資料データ等の公開一覧

情報源 タイプ	文書名	点数	備考
古文書	1 阿蘇家文書	284 点	
	2 阿蘇神社文書	259 点	
	3 阿蘇宮記 写 [古]	1 点	
	4 阿蘇宮記 [古] 星野任林直写	1 点	
	5 有馬文書	52 点	
	6 宇土藩文書	70 点	
	7 宇野文庫	94 点	
	8 旧河原村役場文書	19 点	
	9 崎陽新聞	1 点	
	10 熊本県公文類纂	518 点	
	11 栗屋家文書	33 点	
	12 佐川家文書	19 点	
	13 住谷家文書	45 点	
	14 高田家文書	18 点	
	15 永田家文書	2 点	
	16 羽田家文書	76 点	
	17 肥後国検地帳	282 点	
	18 松浦家文書	12 点	
	19 的場家文書	23 点	
	20 森（睦）家文書	21 点	
	21 柳井文庫	24 点	
	22 米田家文書	86 点	
	23 渡辺家文書	5 点	
小計		1,945 点	
絵図	1 肥後藩絵図	358 点	
	2 明治期郡村図	1,256 点	
	3 西南役関係地図	54 点	
	4 肥後藩絵図等（永青文庫他、1990年撮）	138 点	
	5 家入家文書（阿蘇郡宮地村字図）	19 点	
小計		1,825 点	
地図	1 熊本市地図	38 点	
	小計		38 点
写真	1 井上敏明氏撮影写真(旧江津荘)	110 点	
	小計		110 点
合 計		4,062 点	